



きぼうでは、初めて日本の小学校へ通う児童とその保護者のために、入級時にガイダンスを行っています。きぼうでの生活の様子を紹介するのはもちろん、日本の学校でのきまりを親子で知ってもらうことが大切だからです。また、きぼう修了時にも、保護者向けに修了ガイダンスを行います。登下校の仕方や給食で準備するものなど、これから毎日学校生活で必要となることを再確認するためです。今回は、入級ガイダンスと修了ガイダンスをどのように行っているかを紹介します。

きぼう入級ガイダンス

まずは、きぼうに通う期間やきぼうでの一日の流れなどを、パワーポイントを使って説明します。言葉の説明だけでは日本の学校生活のイメージができない児童や保護者のために、パワーポイントは図や写真、映像を多用することはもちろん、ポルトガル語、タガログ語の音声が入ったものを用意しています。それにより相談員さんや TB さんには説明の補足や保護者の質問や要望を聞いていただく余裕ができ、より丁寧な対応ができています。

1 きぼう とは

2 きぼう の一日

時間	内容
8:00~8:15	登校
8:20~	朝の学習
8:35~	朝の会
8:45~	1 限 「サバイバル日本語」「ガイダンス」
9:40~	2 限 「算数」
10:50	3 限 「教科につながる日本語」「初期日本語」
11:45~	4 限 「教科につながる日本語」「初期日本語」
12:30~	弁当
13:00~	連絡帳の記入・配布物など
13:20~	そうじ
13:55~	5 限 「文字」
14:40~	帰りの準備・帰りの会
15:00	下校

岩西小に準じて

きぼうの概要を理解し、きぼうに通級できることが確認できたら、生活のきまりや持ち物について「入級ガイダンス資料」の冊子とパワーポイントを併用して説明を進めていきます。

③ きぼう の きまり (p4)

もってきてはいけません

⑫ べんとう について (p9)

- ・毎日 もってきてください。
- ・暑い時期は、保冷材をいれてください。
- ・水筒の中身は、お水かお茶です。(ジュースやペットボトルはだめです。)

※在籍校に戻る日は、給食を食べます。注文はしてあります。

ガイダンスに来る児童を見ると、アクセサリーをしてい

たり、スマートフォンを持っていたり、髪を染めていたりします。そこで、日本の学校では服装や髪型、持ち物にきまりがあることを説明します。また、ブラジルやフィリピンでは、家からお金を持ってきて、お菓子や飲み物を自分で買うことのできる学校もあります。日本ではお金を学校に持ってこないことや、弁当(給食)以外の食べ物を食べないことも伝えます。ブラジルでは、朝ごはんを食べないという習慣の児童もいるようです。ブラジルの学校では、お腹がすけば自分で食べ物を買うことができるため困ることはないのですが、日本の学校ではそれができません。そのため「朝ごはんをしっかりと食べてきてください。」というお願いもしています。

連絡帳のサインや連絡袋の中身のチェックなど、毎日やってほしいことも伝えます。児童に宿題が出ることも伝え、保護者には毎日確認をしてもらえるよう依頼します。ガイダンスで依頼することで、しっかり見てくださる保護者の方が多いですが、中には家庭の都合であまり見ていただけない場合もあります。そのときは電話連絡をして

⑥ 毎日かならずやってください (p6)

⑦ 毎日かならずやってください (p6)

再度お願いをし、きぼう修了までに、なるべく習慣化してもらえるようにしています。

